



Kato Tutoring School

きびしく教え、あたたかく育む



NEWS LETTER

懇談週間 : 6/6~6/13



	締切	実施日
英語検定	4/28 (水)	5/22 (土)
漢字検定	5/31 (月)	6/26 (土)
数学算数検定	5/18 (火)	6/19 (土)

表紙・目次・お知らせ	P1	4月模試教科別成績優秀者①	P7
塾カレンダー・懇談週間	P2	4月模試教科別成績優秀者②	P8
生き物の死にざま①	P3	4月模試教科別成績優秀者③	P9
生き物の死にざま②	P4	4月模試偏差値上位者・小学生	P10
秩序ある生活と成績①	P5	4月模試偏差値上位者・中学生/特待生	P11
秩序ある生活と成績②	P6	6月生まれの生徒諸君・アジサイ	P12

～塾からのお知らせ～

1. 塾カレンダー 〈5月～7月〉

5/17	月		6/2	水		6/18	金	
5/18	火	数検×切	6/3	木		6/19	土	数検実施
5/19	水		6/4	金		6/20	日	
5/20	木		6/5	土		6/21	月	
5/21	金		6/6	日	懇談週間始まり	6/22	火	
5/22	土	英検実施	6/7	月		6/23	水	
5/23	日		6/8	火		6/24	木	
5/24	月		6/9	水		6/25	金	
5/25	火		6/10	木		6/26	土	漢検実施
5/26	水		6/11	金		6/27	日	
5/27	木	引落し	6/12	土		6/28	月	引落し
5/28	金		6/13	日	懇談週間終了	6/29	火	
5/29	土		6/14	月		6/30	水	
5/30	日		6/15	火		7/1	木	
5/31	月	漢検×切	6/16	水		7/2	金	
6/1	火		6/17	木		7/3	土	

2. 懇談週間

下表要領で個人懇談を行います。お忙しい中ご足労をおかけいたしますが、万障お繰り合わせの上ご参加くださるようご案内申し上げます。

記

期間	令和2年6月6日(日)～6月13日(日)
場所	加藤学習塾各教室
懇談時間	15分～20分程度

なるべく普段の担当講師を懇談にも当てるようにいたしますが、曜日配置の都合上、必ずしもそうできない場合がございます。その際、どうしても普段の担当講師をご希望ということであれば、その旨お知らせください。上記期間以外で別途調整させていただきます。

3. 検定試験

	締切	実施日
英語検定	4/28(水)	5/22(土)
漢字検定	5/31(月)	6/26(土)
数学算数検定	5/18(火)	6/19(土)

生き物の死にざま①

ジョロウグモ

物

語の主人公は、一匹のメスのジョロウグモである。このジョロウグモは、公園の片すみにある木陰に巣を張っていた。

彼女の母親であるメスグモは、秋の終わりに卵を産むと死んでしまった。これがジョロウグモの宿命である。春になると、卵から生まれた子グモたちは、枝の先など上からおしりから長く糸を出し、その糸で風に乗り、大空を目指して飛び立っていくのである。タンポポの種子が綿毛で新天地を目指すように、クモの子供たちも、大空を移動するのだ。

その旅の詳細については、無口な彼女から聞かなければわからない。クモの移動距離は一〇〇メートル程度とも言われているが、数千メートルもの上空で飛んでいるクモの子どもが観察されることもあるというから、もしかしたら、映画さながらの大冒険だったかもしれない。

こうして、この場所にやってきたメスのジョロウグモは巣を張り、獲物を獲って暮らしているのだ。



ジョロウグモの名の由来

①昔の遊郭の女性を指す「女郎」という言葉が由来とする説。遊郭の女性は派手でしたので、その姿と派手なジョロウグモのメスが重なったと考えられます。②大奥の高級女官「上臈(じょうろう)」が由来となっている説。こちらも遊郭の女性と同じく華やかであるのが共通していますが、上臈は位が高いのがポイント。

それにしてもクモというのは、気の毒な存在である。巣を張り巡らせ、他の昆虫を餌にするクモは、人間たちからいつも悪者扱いされる。

昆虫を擬人化したり、人間が小さくなって昆虫の世界に迷い込んだりした物語では、クモはいつも凶悪なモンスターだ。誤ってクモの巣に引っかかった昆虫や仲間を助けようと、登場人物たちは、みんな力で合わせる。そして、クモに食べられる寸前の危機一髪のところをクモの巣を引きちぎって脱出させるのである。それで、めでたしめでたしである。

しかし、考えてみればひどい話だ。騒動の後に残されたクモは空しい。せっかくの獲物に逃げられたうえに、大切な巣まで破壊されてしまうのだ。

クモは、じつと獲物が巣にかかるのを待ち続ける。

一日中待ち続けても、獲物がかからないことなど当たり前前だ。

何日かに一度、餌にありつければ幸運と言えるだろう。長いときでは、一カ月以上も何も食わずに、ひたすらまちつづけなければならぬこともある。

そのため、クモは絶食に耐えられるようになっており、エネルギーを節約するために動くことなくじつと待ち続けるのである。

物語の主人公であるメスのジョロウグモは孤独であった。

獲物は一向にかからない。今日も何も起こらなかった。次の日も何も起こらなかった。しかし、彼女は来る日も来る日も獲物を待ち続けていた。

生き物の死にざま『ジョロウグモ』②

彼女は孤独である。しかし、彼女自身がひとりぼっちだと思いついでいるだけで、本当のことを言えば、彼女は孤独ではない。

クモの巣の中央で目立っているのは、すべてジョロウグモのメスである。ジョロウグモの巣を見ると、メスのまわりに数匹の小さなクモが見つかる。じつはこのクモたちがジョロウグモのオスなのである。ジョロウグモの大きさは大人のメスの胴体が二〜三センチメートルあるのに対して、大人のオスの胴体は一センチメートル程度しかない。この小さなオスたちは、子どものうちはそれぞれ小さなクモの巣を張ってくらしているが、夏になって大人になるとメスの巣へと集まり、そこに息を潜めながら居候するのである。

ジョロウグモのオスは、メスよりも一足早く大人になって生殖能力を持つ。メスの巣に潜み、メスが成体となり生殖能力を持つようになると、すぐに交尾をするのである。

やがて秋の終わりにになると、メスのジョロウグモは卵を残し、その子供たちはまた大空の旅に出るのである。それがクモの生活史なのだ。

それにしても獲物がかからない。ジョロウグモは待ち続けている。彼女はあせることはない。いらつくこともない。彼女は、じっと待ち続けていた。

今日も、何事も起こらなかった。しかし、そんなことでめげているのは、クモとして生き抜くことはとてもできない。彼女にできるのは、待ち続けることだけなのである。

次の日も、次の日も彼女は待ち続けた。ときどき、小さなオスの餌にはなりそうな小さな虫がかかってオスたちは空腹を満たし



ているようだが、そんな小さな虫では大きな身体の彼女の餌にはならない。

もう何日、待ち続けていたことだろう。ある穏やかな日の午後のこと……

勢いよく飛んできたトンボが、彼女の巣にかかった。

糸の振動で獲物を感じ取った彼女は、目にもとまらぬ速さで首尾よく獲物に襲いかかり、吐き出した糸で、トンボを動けないようにぐるぐる巻きにした。

もう待ちくたびれていてもおかしくないのに、驚くべき瞬発力である。

まさに、あつという間の出来事。調子よく飛んでいたトンボにとっては、一瞬先は闇と言ったところだろう。

彼女にとっては、本当に久しぶりのご馳走、そして、これがこの憐れなトンボの最後だったのである。

死とはあつけないものである。死とはある日突然、訪れる。それはジョロウグモにとっても、同じである。

昆虫にとっては恐ろしい存在のクモも、鳥にとっては餌にすぎない。スズメやカラスに襲われて、逃げることもできずに餌食になるジョロウグモも多いのだ。

食うものも食われるものも誰もが必死に生きている。それが自然界である。

捕らえたトンボを食べていると、オスがあわてて彼女に近づいてきた。ジョロウグモのメスにとっては、動くものはすべてが獲物である。交尾のためにやってきたオスもまた、彼女にとっては獲物でしかない。オスにとっては、メスに不用意に近づけば食べられてしまう。そのため、メスが餌に気を撮られているうちに、交尾をすませるのである。やがて、彼女のお腹の中には新しい命が宿ることだろう。

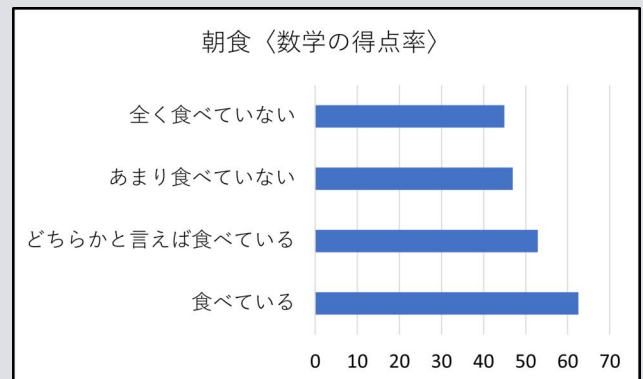
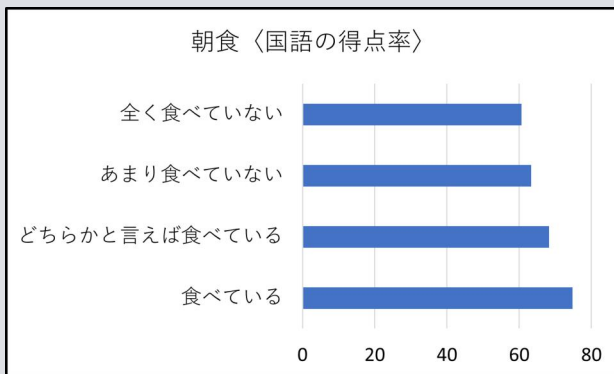


あすなろ 白書

Forefront of Education

どうすれば学力を身につけることができるのか。より多く勉強をすればより高い学力が身に付く、当然のことだろう。が、実は勉強量と同じくらい大事なことがある。日々の生活である。今回は文科省『2019年度全国学力・学習状況調査』から、秩序だった日常生活を送っている子どもの方が、そうでない子どもよりも学力が高いというデータをいくつか紹介しよう。 (株)塾と教育社民間教育研究所

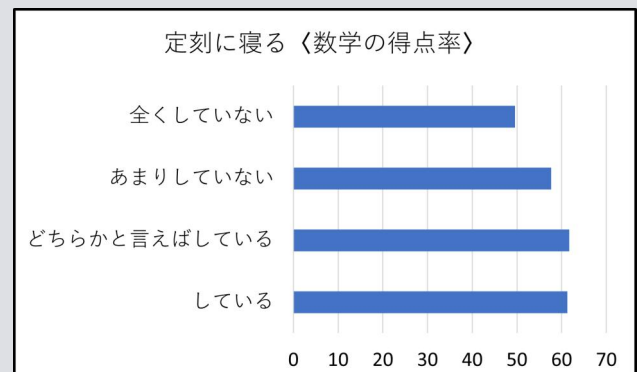
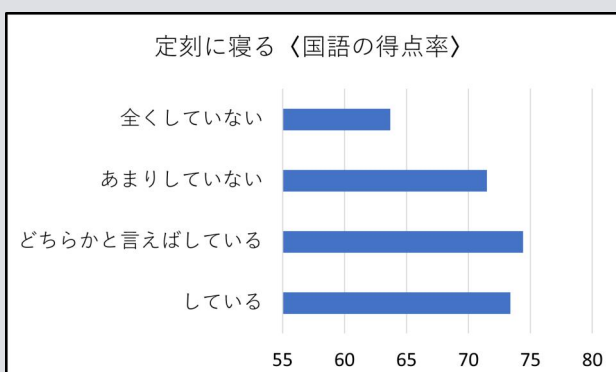
秩序だった日常生活を送っている子どもの方がそうでない子どもよりも学力が高い

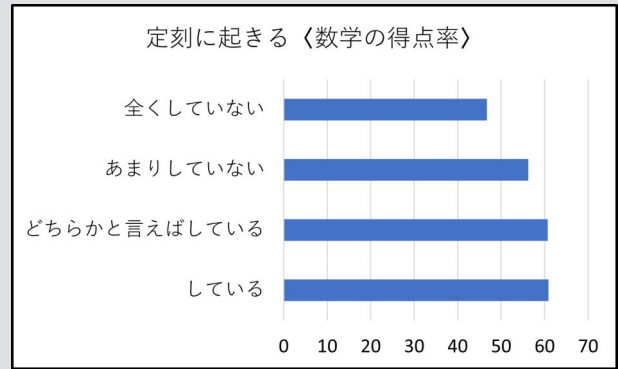
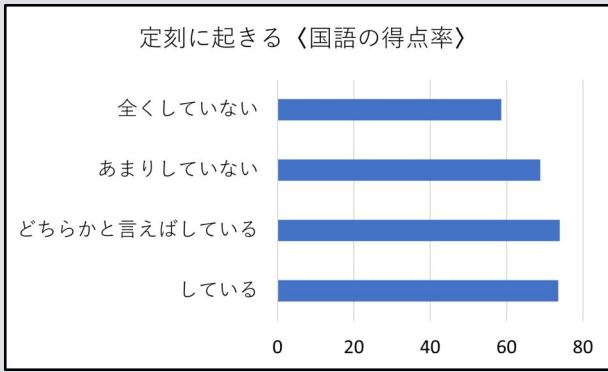


「朝食を毎日食べていますか」

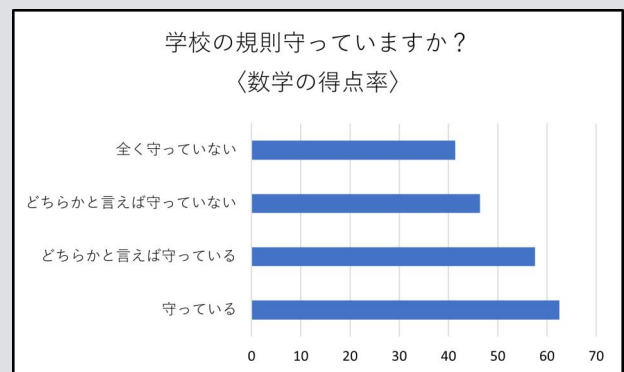
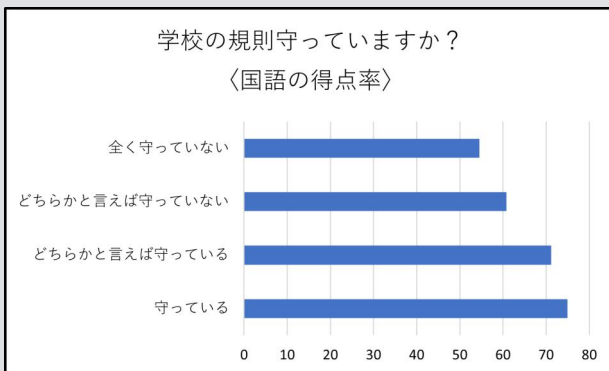
という質問に対する回答別の正答率である(中3生対象。以下、すべて同じ)。

朝食をとっているかいないかだけで、これだけの差が生まれるのである。

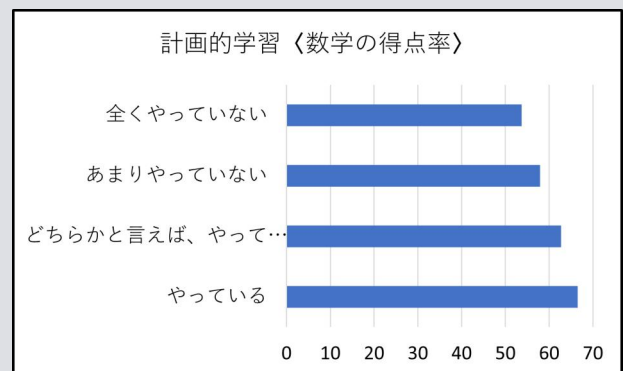
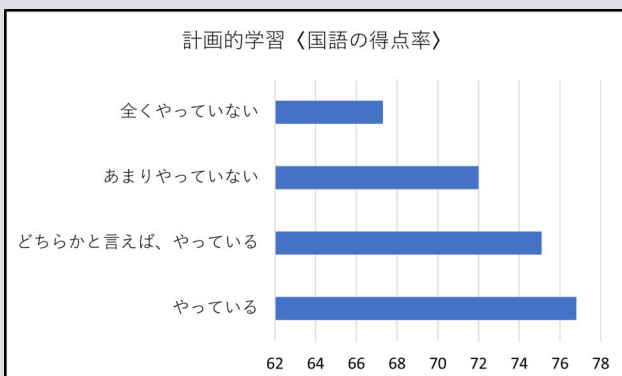




同じ時間に床に就き、同じ時間に起きるとするのがやはり基本なのであろう。



中学生くらいの子どもにとっては、「規則を守る」ということは「先生の言うことに従う」とほとんど同義なのではないでしょうか。つまり、宿題や課題についての指示、勉強の仕方へのアドバイスなどもある意味「規則」なのでしょう。



「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」

に対する回答別正答率当然ながら計画的に勉強している方が正答率は高い。時間的には「3時間以上」と「2時間上、3時より少ない」との間に大差はなく、「毎日2時間以